



Chiba Kogyo Bank

REPORT 2015

ミニ・ディスクロージャー誌
平成28年3月期 営業の中間ご報告

目次 Contents

ごあいさつ 1

地域とともに

「地方創生」推進への取組み 3
 ダイバーシティ推進に向けた取組み 7

お客様のために

商品・サービスのご案内 9
 さらにご利用いただきやすい店舗へ 11

「親切」の心で

CSRの取組み 地域社会・地域経済への貢献 13

業績のご報告(単体) 15
 財務諸表(単体) 19
 財務諸表(連結) 20
 役員・株式の状況 21

プロフィール Profile

名称

株式会社千葉興業銀行
 [英文表示] The Chiba Kogyo Bank, Ltd.

本店所在地

千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

設立年月日

昭和27年1月18日
 (営業開始:昭和27年3月3日)

資本金

621億2,053万3,949円

店舗数

72店舗(県内71店舗、都内1店舗)

従業員数

1,347名

(平成27年9月30日現在)



[ちば興銀は、次世代認定
 マークを取得しています。]

ごあいさつ

平素より、千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

平成27年度中間期の当行の経営内容や業績、CSRの取組み等をミニ・ディスクロージャー誌にまとめました。ご覧いただければ幸いです。

平成27年度における千葉県経済は、企業収益の改善が続き、雇用情勢も良好な水準を維持するなど、底堅い動きを見せております。

このような経営環境の中、当行は、平成25年度から始まった3カ年の中期経営計画「変革・成長戦略"2nd Stage"」の最終年度として、主要戦略の仕上げに取組み、当中間期におきましても、前期に続いて経常利益が過去最高益となるなど良好な業績をおさめることができました。

また、7月には26年ぶりとなる公募増資を実施いたしました。

これもひとえに、お取引先・株主・地域の皆さまからのご愛顧によるものと心から感謝申し上げます。

当行が営業基盤とする千葉県は、首都圏に位置しながら、農水産資源に恵まれ、国際空港を始め、優れた都市機能を併せ持つ全国有数のバランスのとれた産業構造を有しています。さらに、5年後に東京五輪・パラリンピックも控え、一層の成長が見込める肥沃なマーケットであります。このような中で「地方創生」が地域経済・社会における一大テーマとなる中、地元企業への積極的かつ安定した資金供給によって、中小企業の「再生」と「成長」に繋げていくことが地方銀行の社会的使命であることをこれまで以上に意識し、財務基盤の一層の強化と企業価値の向上に努めてまいります。

当行は引続き、「地域の お客さまのベスト・コンサルタント」となるべく、さらには「選ばれ続け、地域・お客さまになくはない絶対的存在感のある銀行」をめざし、当行グループの総力を結集して業務に邁進していく所存です。

今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月



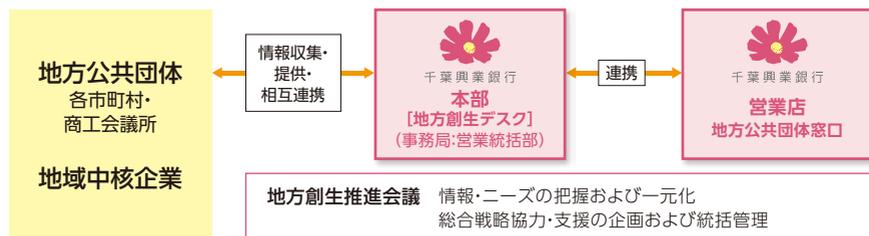
取締役頭取・CEO 青柳 俊一

「地方創生」推進への取組み

「地方創生」に向けた行内体制整備【平成27年4月】

ちば興銀では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の決定を受け、県・市町村がまとめる「地方版総合戦略」の策定や推進を支援するため、行内に「地方創生推進会議」を設置いたしました。

「地方創生推進会議」では、「環境」「観光」「医療・介護」「アグリ・フード」などの分野における地域産業を強化するための活動を行っております。



千葉県商工労働部との意見交換会を実施【平成27年7月～9月】

千葉県商工労働部のご協力により、千葉県の中小企業戦略や産業振興、観光推進などの施策を学ぶ意見交換会を実施

産官協力による新入行員課外研修会の開催【平成27年6月】

「地域とともに」歩む行員育成への取組みとして、市原市および小湊鐵道株式会社様のご協力を得て、当行新入行員の課外研修会を開催

第21回千葉元気印企業大賞に「地方創生賞」を創設【平成27年9月】

今年度、「地域資源を活かした事業展開に積極的な企業」などを表彰する「地方創生賞」を特別賞として創設

おいしい食べもの直売会「千産千商2015 in 聖徳祭」開催【平成27年11月】

今年で6回目となる聖徳大学短期大学部との産学連携協定に基づく活動のひとつで、お取引先企業13社が出展したほか、今回は南房総市からも初出展

農商工連携による6次産業化支援【平成27年7月】

「南房総市との包括的な連携協定」による第1号案件として、南房総市商工観光部と連携し、同市内の農業法人に対して観光事業などの6次産業化を支援

「國學院大學ホームカミングデー院友会支部物産展」への協力【平成27年10月】

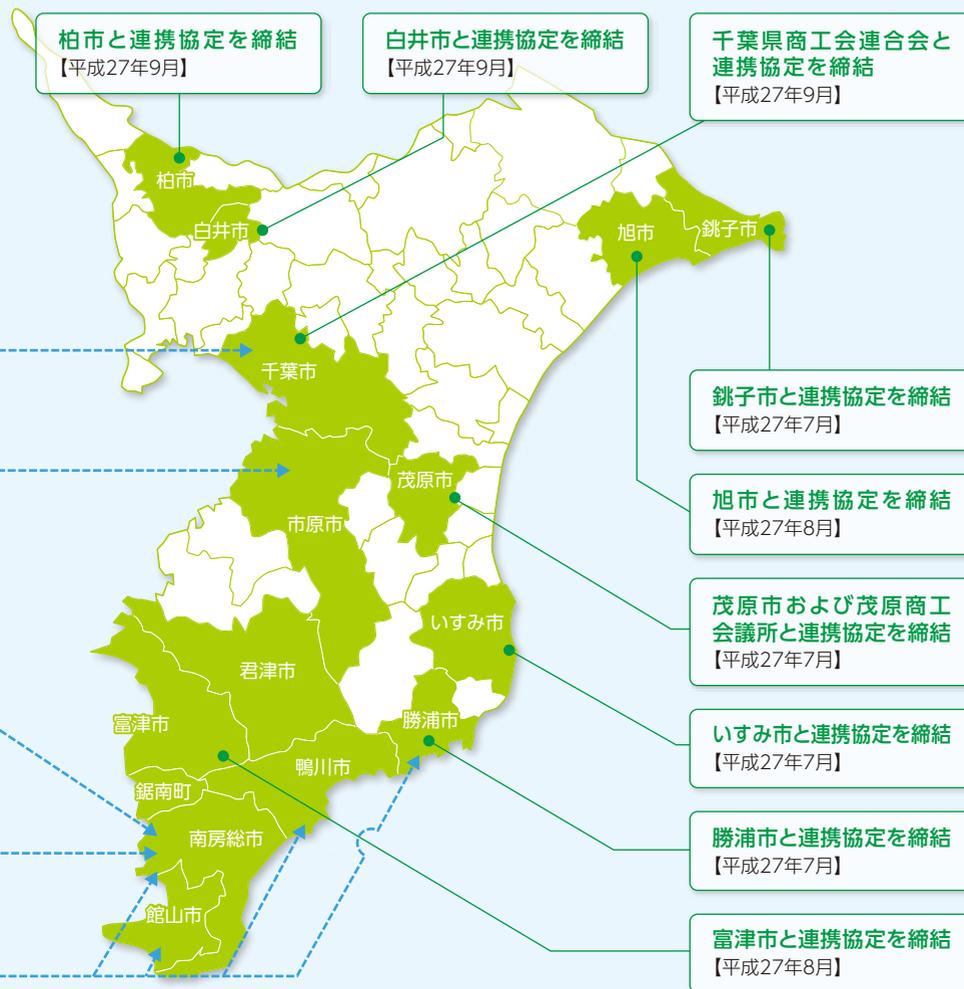
國學院大學 渋谷キャンパスにて開催の「ホームカミングデー院友会支部物産展」における勝浦市、鴨川市、館山市、南房総市の名産品出展および観光案内への協力

ちば興銀は、千葉県のさらなる発展に寄与するため、「地方創生」への取組みをさらに充実させてまいります。

地域発展・活性化支援に
関する相互連携協定の締結

平成26年12月	南房総市
平成27年 2月	館山市、鋸南町、鴨川市
平成27年 7月	勝浦市、いすみ市、銚子市、茂原市および茂原商工会議所
平成27年 8月	旭市、富津市
平成27年 9月	千葉県商工会連合会(県下40の商工会)、柏市、白井市

※これまでに君津市と連携協定を締結しています



農工商連携による6次産業化支援【平成27年7月】

「南房総市との包括的な連携協定」による第1号案件として、南房総市商工観光部と連携し、同市内の農業法人株式会社たんぼぼ農園様に対して観光事業などの6次産業化支援を行いました。

さらなる事業拡大を通して、産業の創出・不耕作農地の活用、雇用の確保、観光の活性化につなげていく狙いです。

当行は、株式会社ヤマト様および関連会社である農業法人株式会社たんぼぼ農園様が考案した“魅せるトマト農園”を柱とする本格的な水耕栽培事業に対し、「南房総市中小企業新事業および雇用創出支援事業」の制度活用を組み合わせたコンサルティングなど、以下の事業支援を行いました。

当行が行った支援内容

- 農産物の生産・加工・販売（いわゆる6次産業化）に関する提案
- 観光事業構想に関するアドバイス
- 補助事業申請にかかるサポート
- 一連の事業にかかる金融支援の実施



農業法人の代表と計画を話し合う須藤支店長(右)

千葉県商工労働部との意見交換会を実施【平成27年7月～9月】

「地方創生」推進への取組み強化にあたっては、千葉県の施策を深く理解し、認識課題の共有を高めることが重要であることから、県商工労働部にご協力いただき、全5回にわたり、当行本部署員が参加して中小企業戦略や産業振興、観光推進などの施策を学びました。

スケジュール

- 7/21 千葉県経済の活性化に向けて～地方創生について～
- 7/29 ちば中小企業元気戦略について
- 8/ 5 産業振興ビジョンについて
- 8/19 観光立県ちば推進基本計画について
- 9/ 2 就労支援(障がい者)・産業人材の育成支援について



産官協力による新入行員課外研修会の開催【平成27年6月】

市原市と小湊鉄道株式会社様のご協力を得て、当行新入行員の課外研修会を開催いたしました。

当行の企業理念である「地域とともに」をより深く理解するため、地域の企業や地方自治体の取組みを知り、体験することで、金融機関に対する期待に応える心を養い、また同僚と協力して目的を成し遂げることで、チームワークの大切さを学びました。



小湊鐵道を活用した市原市観光イベント案のプレゼンテーション大会



市原市南部地域の観光資源を体感する～いちほら里山フォトログイニング^(※)大会～



(※)フォトログイニングとは、地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ。チェックポイントでは見本と同じ写真を撮影することで得点となる。昨年開催された中房総国際芸術祭「いちほらアート×ミックス」で実施され、好評となった企画。

「國學院大學ホームカミングデー院友会支部物産展」への協力【平成27年10月】

國學院大學 渋谷キャンパスにて開催の「ホームカミングデー院友会支部物産展」(主催:一般財団法人 國學院大學院友会)において、勝浦市、鴨川市、館山市、南房総市の名産品出展および観光案内に協力し、東京都内および県外消費者に向けて千葉県産品を直接PRいたしました。



「おもてなし運動」への参加

2020年東京オリンピック・パラリンピックでの3競技が千葉県で開催されることが決定し、来訪者の増加が見込まれています。

千葉県への来訪者が、心から満足し、多くの方々に何度も訪れてもらえるよう、自治体・企業・県民が一体となって、千葉県の「おもてなし力」向上を目指して、ちばプロモーション協議会(会長 森田 健作千葉県知事)が「おもてなし運動」を行っています。

当行は「おもてなし運動」に協力し、全店で同運動に参加しております。



ダイバーシティ推進に向けた取組み

ポジティブ・アクション

管理職への登用 職域拡大

(融資事務・融資渉外業務、本部専門業務等)

当行の女性管理職者は186名で、管理職者数に対する割合は24.6%となっております。
また支店における融資事務・融資渉外業務担当者は47名、本部専門業務担当者は75名となっております。(平成27年9月30日現在)
女性行員の「積極採用」「職域拡大」「管理職登用」に積極的に取り組んでおります。

ワーク・ライフ・バランス

社内規程の整備 復職支援プログラムの運用

産休・育休から復職する際の支援プログラムを実施し、月に一度の復職支援ニュースの発行、新商品や事務の改正点等の研修を実施し、スムーズな復職を支援しております。
「地域貢献」「出産・育児」「家族介護」など、さまざまな分野において、仕事と生活の両立支援を進めております。



INTERVIEW

女性取締役

ダイバーシティへの取組みについてお聞きしました



取締役 戸谷 久子

女性活躍推進のうねりは、法制以前からありました。特にちば興銀は、第1回千葉県男女共同参画推進事業所知事表彰を受賞した県内でも男女共同参画推進のトップリーダー的企業です。

今年は女性活躍推進法が施行され、行動計画を来年3月までに策定することになります。多くの企業で女性のリーダーや管理職を増やすことが目標になっていますが、最も重要なことは、どのような職場環境であれば、女性も男性も、誰もが理解し合い、納得できる働き方を実践していけるかを見出すプロセスにあると思います。

私もこのプロセスに必要な、営業店舗訪問、女性支店長・管理職の方々との意見交換を始めました。これらをもとに、社外取締役として私にできることを発信して行きたいと思っています。



※ダイバーシティ(Diversity=「多様性」)とは、性別や年齢、考え方などさまざまな「違い」を尊重し、受け容れていくことで、多様な人材が能力を発揮できる環境を作り、企業パフォーマンスの向上を図ることを目的とした考え方です。

ちば興銀では、女性の活躍促進に向けて「ポジティブ・アクション」と「ワーク・ライフ・バランス」の取組みを積極的に進めております。

女性向けマネーセミナーを開催



当行津田沼支店およびそごう千葉店において、投資のはじめかたを見つけたい女性のために、投資の基本的な考え方から商品選びのポイントまでをやさしく解説する「女性のためのマネーセミナー」を開催しました。

ちば興銀presents 夏祭りスペシャルナイター

毎年行っているマッチデーとしてQVCマリンフィールドで「ちば興銀presents夏祭りスペシャルナイター」を開催し、先着2万人にオリジナルうちわやラッキーナンバー抽せん用紙を配布するなど、さまざまなイベントを行いました。

始球式では、当行で働いている“ママ行員”6名が登場する特別セレモニーが行われました。



夏休み体験隊 「サマーキッズスクール2015」開催



県内の小学5・6年生を対象にQVCマリンフィールドにて9回目となる金融教育・しごと体験イベントを行いました。

千葉商科大学教授の伊藤宏一先生を講師として、お金について学んだ後、当日のマリーンズ戦のプログラムを販売する「しごと」を体験していただきました。

次世代認定マーク「くるみん」3回目の取得

当行では、従業員が仕事と育児を両立できるような支援するための環境整備・各種施策等の実施を、従業員に対するCSR(企業の社会的責任)の一環と位置づけ、積極的に取り組んでおります。

次世代育成支援対策推進法施行以後、当行が取組んできた従業員に対する各種の育児支援策などが評価され、当行は千葉県における第1号の認定企業となりました。今回で3回目の認定となります。



商品・サービスのご案内

ちば興銀ATM

ちば興銀のATMは、365日年中無休。最長8時から21時までご利用いただけます。
ちば興銀ATMを利用して、定期預金(スーパー定期・スーパー定期300)にお預入れいただくと、金利が上乘せ(初回預入期間のみ+0.02%)となります。
ほかにも為替手数料が半額となる「外貨預金ATMサービス」や、数字選択式宝くじが購入できる「ちば興銀宝くじサービス」など、便利でおトクなサービスをご用意しております。

「外貨預金ATMサービス」	「ちば興銀宝くじサービス」
 <p>お取引店の窓口まで行かなくても、平日16時までちば興銀ATMでご利用が可能です。 為替手数料は、窓口でお手続きいただく場合の半額です。</p>	 <p>お近くのちば興銀ATMで数字選択式宝くじが購入できます。 購入代金はその場で口座から自動で引落します。ちば興銀が当せん調査を行い、当せんされた場合、当せん金をお客さまの口座にお振り込みします。</p>

また当行のキャッシュカードは、ちば興銀本支店のATMはもちろん、みずほ銀行など提携金融機関をはじめ、ゆうちょ銀行など全国の金融機関・コンビニエンスストアでご利用が可能です。



セブン銀行ATM・イーネットATM・ローソンATMなら**24時間**ご利用可能!

下記の提携金融機関のATMなら**平日8:45~18:00**まで**ATM利用手数料が無料!**

提携金融機関	みずほ銀行、イオン銀行、横浜銀行、東京都民銀行、常陽銀行、筑波銀行、山梨中央銀行、武蔵野銀行、銚子信用金庫、館山信用金庫
--------	--

「コスモスクラブ」

ちば興銀ポイントサービス「コスモスクラブ」は、当行とのお取引内容に応じて獲得したポイントによって、ATM・貸金庫の手数料や預金の金利優遇、ローンの金利割引など、さまざまな特典が受けられます。

個人のお客さまならどなたでもご入会可能で、入会金・年会費は無料です。



ちば興銀は「地域の お客さまの ベスト・コンサルタント」でありたいと考えます。お客さまのニーズにお応えし、ご満足いただける商品・サービスの提供に努めております。

ちば興銀「LINE@」アカウント開設

コミュニケーションアプリ「LINE(ライン)」において、「LINE@」のアカウントを開設しました。
友だち登録で、おトクなキャンペーン情報などをお届けいたします。



友だち登録方法

- **アカウント名検索**
「その他」▶「公式アカウント」▶「ちば興銀」を入力して検索 ▶
- **ID検索**
「その他」▶「友だち追加」▶「ID検索」▶「@chibakogin」を入力して登録
- **QRコード**
「その他」▶「友だち追加」▶「QRコード」▶



ちば興銀カードローン「リリーフ」・ちば興銀フリーローン

お使いみちは自由で、最高500万円までご利用いただけます。
ちば興銀カードローン「リリーフ」では、当行の住宅ローンをご利用いただいている方で、ご新規申込みの場合に限り、店頭表示金利から1.0%割引となります。



ちば興銀ダイレクト専用定期預金「ダイレクトコスモス」

(下記金利適用期間:平成28年3月31日(木)まで)
ちば興銀ダイレクト(インターネットバンキングサービス)専用の定期預金で、さらにおトクにご利用いただけます。

お預入れ日に店頭に表示する「スーパー定期」の各お預入期間の金利に、右記の金利を上乘せしたものを満期日まで適用いたします(お預入金額が300万円以上の場合でも、適用する金利は変わりません)。

お預入期間	1年	+0.05%
お預入期間	3年	+0.10%
お預入期間	5年	+0.15%



※こちらのミニ・ディスクロージャー誌に掲載している商品・サービスの概要・詳細については、店頭のパンフレット「商品概要説明書」、または当行ホームページ(<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>)をご覧ください。

さらにご利用いただきやすい店舗へ

東松戸支店・新規出店 (平成28年1月)

平成28年1月12日(火)に東松戸支店を新規出店いたします。

新店舗は、JR武蔵野線と北総鉄道北総線の2路線が利用できる東松戸駅前アルフレンテビル2階となります。

駅ロータリー前でわかりやすく、北総線東松戸駅からは連絡通路で同ビル2階に直結しています。店舗ロビーは千葉県産の木材を使用し、開放感のあるスペースを確保しました。

また、共同使用の自走式立体駐車場(156台)が完備されており、お車でも安心してご来店いただけます。



アルフレンテビル外観

松戸支店の店舗建替えに伴う仮店舗への移転 (平成28年2月)

松戸支店を現在地に建替えることとし、平成28年2月8日(月)より、仮店舗に移転のうえ営業をいたします。

仮店舗での営業期間中は、お客さまに何かとご不便をおかけしますが、平成28年11月頃には快適で機能的な新店舗の開店を予定していますので、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



仮店舗営業開始日	平成28年2月8日(月) 予定
所在地	〒271-0091 松戸市本町13-19
電話番号	047-362-0151 (変更ございません)
キャッシュコーナー	平日・土・日・祝日(8:00~21:00)
駐車場	隣接のコインパーキングは平日9:00~15:00までは窓口にてチケットをお渡します。

六実支店・リニューアル

平成27年5月に新店舗での営業を開始いたしました。21時まで利用可能な全自動貸金庫(365日稼働)や、個別相談ブースなどを設けております。

8月には駐車場整備が完了し、ランドオープンいたしました。店舗前面に広々とした駐車スペースを確保し、お車での来店時に、よりスムーズな出入りができるようになりました。



全国金融機関初!

卓上型聴こえ支援機器「COMUOON(コミュニケーション)」を全店に設置



高齢者・障がい者にやさしい店頭受け入れ態勢を充実させるために、卓上型聴こえ支援機器「COMUOON(コミュニケーション)」を全店に設置いたします。

今回の導入により、お客さまとのスムーズなコミュニケーションおよび聴きもれ防止に役立てていきます。

「コミュニケーション」の全店設置は、全国金融機関で初の取組みとなります。

設置済み店舗(平成27年10月6日現在、22店舗)

本店営業部、千葉支店、蘇我支店、浜野支店、白旗支店、鎌取支店、稲毛支店、検見川支店、真砂支店、幕張本郷支店、幕張テクノガーデン支店、小倉台支店、千城台支店、千葉駅前支店、花見川支店、土気南支店、四街道支店、市川支店、八幡支店、中山支店、船橋支店、津田沼支店(平成28年3月までに上記以外のすべての店舗に配置)

卓上型聴こえ支援機器「COMUOON(コミュニケーション)」について

株式会社ユニバーサル・サウンドデザインが開発した卓上型の聴こえ支援機器で、卵型の特殊スピーカーを難聴者に向け、マイクで話すと、その人にだけ声ははっきり聴こえ、周囲の人には拡大された声が漏れづらいのが特徴です。

当行では27年4月以降、3店舗で試験導入していましたが、お客さまアンケートでも好評を得ていたことから、全店への設置となりました。

「車いす」設置と「サービスケアサポーター」の配置

ご高齢のお客さまやお身体の不自由なお客さまにご利用いただくため、新たに24店舗に車いすを設置、既に設置済みの店舗とあわせ、46店舗に車いすが設置されました。

また、車いすの安全な操作の習得などを目的として、車いす設置店舗のロビースタッフ全員が、平成27年度中に「サービスケアサポーター講座」を受講いたします。



タブレット端末(iPad Air2)の導入

お客さまにタイムリーな情報提供と、よりわかりやすいご提案を行うため、タブレット端末(iPad Air2)を本格導入いたしました。

平成27年7月より、全店の資産運用担当者を中心に130台で運用を開始し、9月末までに計400台を導入しました。



文化・スポーツ活動



ちば興銀コスモスコンサート

地域の皆さまにクラシック音楽や映画音楽などを間近で親しんでいただけるよう、そごう千葉店前JR連結口広場にて、ミニコンサートを22年連続で開催しております。



ちば興銀コスモスセミナー

「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコンセプトに無料公開講座を毎年開催しております。第17回は「幕末期下総の博徒たち」をテーマに開催し、76名のお客さまが受講されました。



各種スポーツ大会・文化活動への貢献

当行と千葉県ゲートボール連盟との共催による「千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を、26年連続で開催しております。

そのほか、千葉県体育協会や千葉県障がい者スポーツレクリエーション協会、千葉県文化振興財団等への協賛・協力も行っております。



環境への取組み

環境美化活動の実施

春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフおよびその家族がボランティア参加しております。(全部室店参加総数約1,000名)。また、国道14号・357号沿線の12企業・団体が組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道の清掃を実施しております。



社会奉仕活動



「小さな親切」運動の推進

当行は、33都道府県が参加する全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部として、県内の運動推進をお手伝いしております。

当行行員は全員「小さな親切」運動に会員登録しており、地域のボランティア活動や寄付・募金活動等に取組んでおります。



スポークライトの贈呈

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協力会」より、交通事故撲滅の願いをこめて、県内新中学1年生へスポークライト(自転車事故防止用反射板)を毎年贈呈しております。(21年間で延べ248,400個)



千葉県許諾 第A211-3号

「チーバくん」を活用した子育て応援

「千葉県安心子ども基金」に対し、当行とメットライフ生命による共同社会貢献プログラムとして、半年ごとに対象商品の販売件数に応じた一定額を寄付しております。

「チーバくん」を活用した子育て応援事業として、今回は広く活躍する有識者を招き、県内の高校生等を対象に、子育ての意義や親の役割等についての講習会を実施しました。

ちば興銀の森

県有林において、2年目の「ちば興銀の森」活動を実施しております。

塩害や松くい虫などの影響により壊滅状態にある匝瑳市新堀海岸県有林の再生を目指して、5年間で5,000本の植栽や草刈などによる海岸保安林再生活動を展開しております。

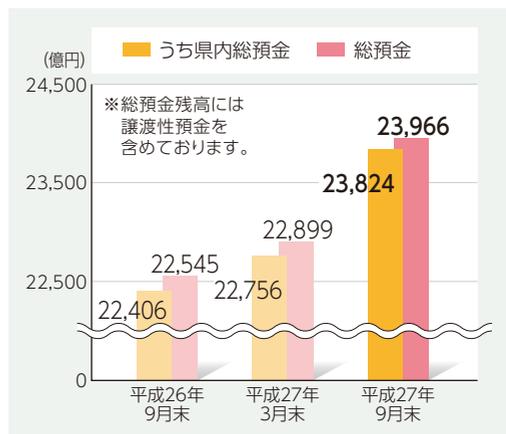


平成27年9月期の業績につきましては、預金・貸出金が順調に増加し、年金保険等の販売も好調に推移しました。また、お取引先の経営改善が進み、与信関係費用が縮小したことなどから、経常利益・中間純利益ともに増益となりました。経常利益は中間期における過去最高益を計上しております。

(注)当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

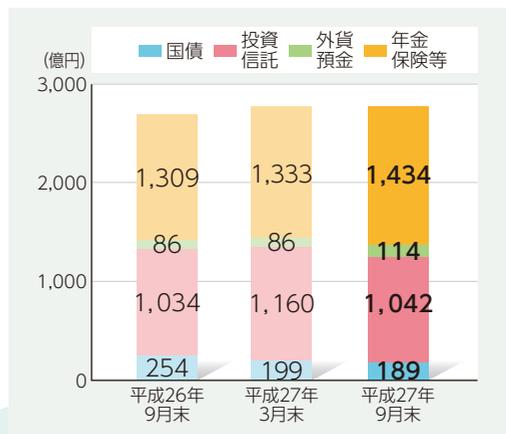
総預金残高

総預金残高は、前年同期比1,420億円と大幅に増加し、2兆3,966億円となりました。



預り資産

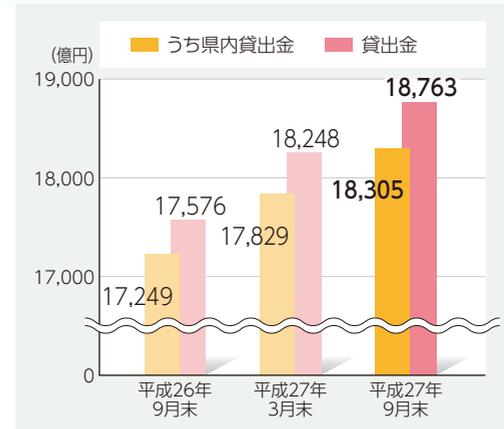
投資信託は、当中間期におけるマーケット環境が不安定であったことを背景に伸び悩みとなりましたが、お客さまの長期・安定的な資金運用ニーズの高まりから、年金保険等は前年同期比125億円増加の1,434億円となりました。



グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

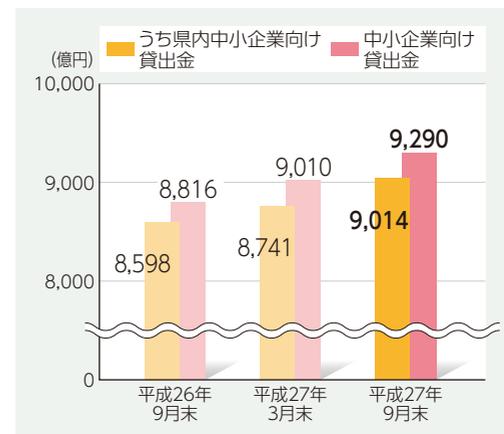
貸出金残高

貸出金残高は、地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えした結果、前年同期比1,187億円と大幅に増加し、1兆8,763億円となりました。



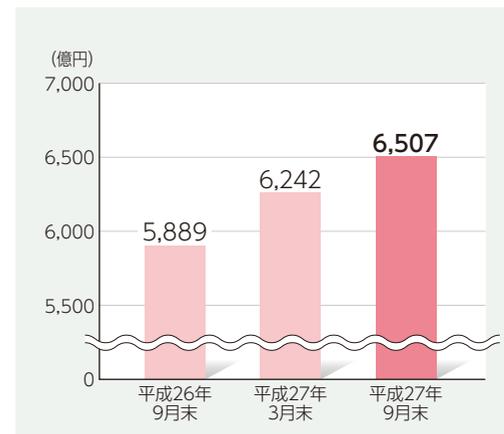
中小企業向け貸出金残高

中小企業向け貸出金残高は、前年同期比473億円増加し、9,290億円となりました。



住宅ローン残高

住宅ローン残高は、住宅販売会社との連携強化等により、前年同期比618億円増加し、6,507億円となりました。



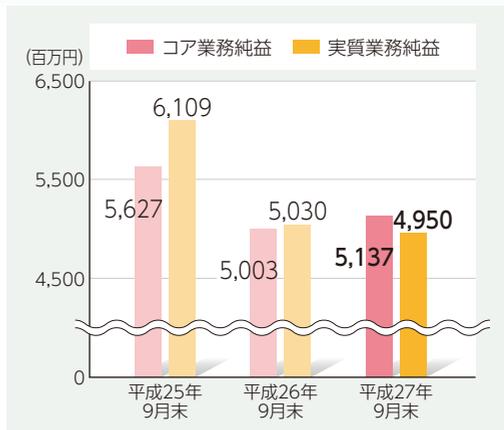
コア業務純益・実質業務純益

コア業務純益は、前年同期比1億33百万円増加し、51億37百万円となりました。

実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前の業務純益)は、前年同期比79百万円減少し、49億50百万円となりました。

コア業務純益

$$\text{コア業務純益} = \text{一般貸倒引当金繰入前の業務純益} - \text{国債等債券関係損益}$$



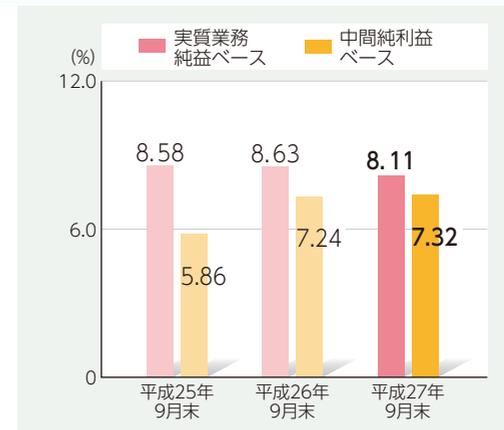
ROE (株主資本利益率)

実質業務純益ベースでは、前年同期比0.51ポイント低下し、8.11%、中間純利益ベースでは、前年同期比0.07ポイント上昇の7.32%となりました。

ROE(実質業務純益ベース、中間純利益ベース)

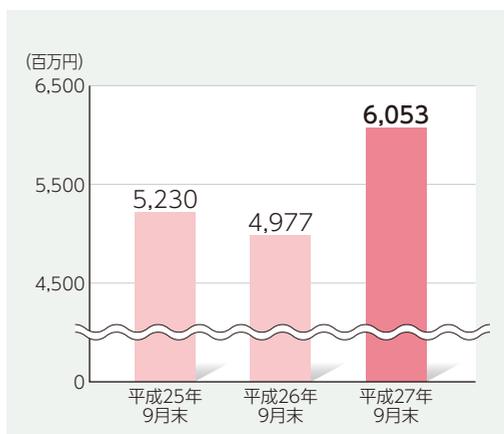
$$\text{ROE (株主資本利益率)} = \frac{\text{実質業務純益 (中間純利益)}}{\text{株主資本} \div \text{純資産の部合計} \times \text{平残}} \times 100$$

値が大きいほど株主資本の「収益性」が高いことを示しています。



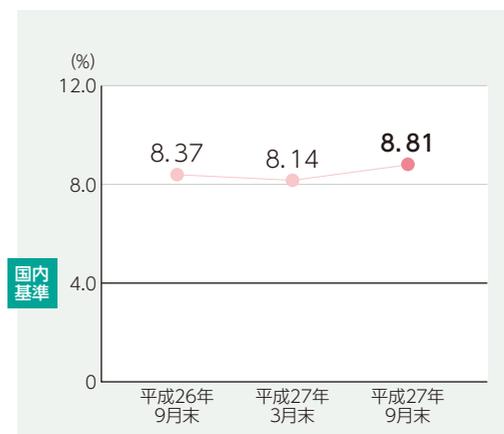
経常利益

経常利益は、前年同期比10億76百万円増加し、60億53百万円となりました。



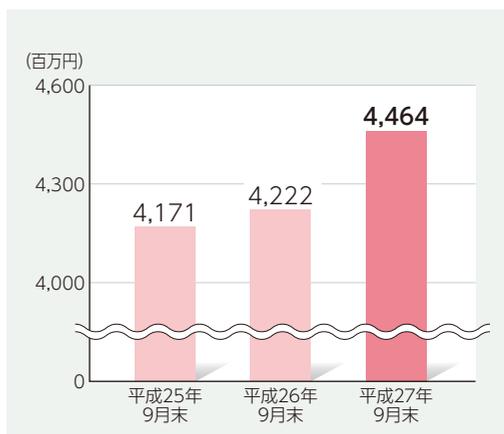
自己資本比率(バーゼルⅢ)

自己資本比率は、平成27年3月末比0.67ポイント上昇の8.81%となりました。なお、本年7月に実施しました公募増資により、資本金および資本準備金は合計83億円増加しております。



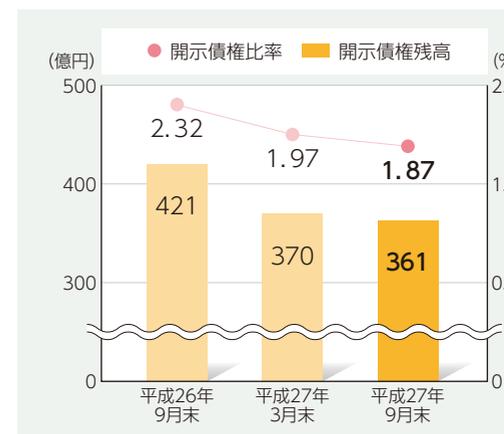
中間純利益

中間純利益は、前年同期比2億41百万円増加し、44億64百万円となりました。



開示債権比率等(金融再生法基準)

お取引先企業とのリレーション強化、経営課題解決への支援強化に取組んだ結果、金融再生法基準の開示債権比率は平成27年3月末比0.10ポイント減少の1.87%、正常債権を除いた「開示債権」の平成27年9月末残高は、平成27年3月末比9億円減少の361億円となりました。



第94期中(平成27年9月30日現在)中間貸借対照表 (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	127,958	預 金	2,347,481
買入金銭債権	647	譲渡性預金	49,200
商品有価証券	153	借 用 金	9,438
有価証券	532,830	外国為替	23
貸 出 金	1,876,383	その他負債	16,067
外国為替	3,340	未払法人税等	130
その他資産	6,831	リース債務	1,284
その他の資産	6,831	その他の負債	14,652
有形固定資産	19,685	退職給付引当金	6,171
無形固定資産	2,006	睡眠預金払戻損失引当金	855
繰延税金資産	8,396	支払承諾	15,693
支払承諾見返	15,693	負債の部合計	2,444,930
貸倒引当金	△9,474	(純資産の部)	
資産の部合計	2,584,452	資 本 金	62,120
		資本剰余金	6,971
		資本準備金	6,971
		利益剰余金	57,647
		利益準備金	4,493
		その他利益剰余金	53,153
		繰越利益剰余金	53,153
		自 己 株 式	△66
		株主資本合計	126,673
		その他有価証券評価差額金	12,826
		評価・換算差額等合計	12,826
		新株予約権	23
		純資産の部合計	139,522
		負債及び純資産の部合計	2,584,452

第94期中(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)中間損益計算書 (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
経常収益	22,138	特別損失	50
資金運用収益	15,503	税引前中間純利益	6,002
(うち貸出金利息)	(12,342)	法人税・住民税及び事業税	24
(うち有価証券利息配当金)	(2,916)	法人税等調整額	1,514
役員取引等収益	4,315	法人税等合計	1,538
その他業務収益	722	中間純利益	4,464
その他経常収益	1,597		
経常費用	16,084		
資金調達費用	703		
(うち預金利息)	(589)		
役員取引等費用	2,143		
その他業務費用	423		
営業経費	12,424		
その他経常費用	390		
経常利益	6,053		

第94期中(平成27年9月30日現在)中間連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	127,996	預 金	2,335,577
買入金銭債権	647	譲渡性預金	49,200
商品有価証券	153	借 用 金	23,873
有価証券	532,682	外国為替	23
貸 出 金	1,871,728	その他負債	21,788
外国為替	3,340	退職給付に係る負債	6,691
その他資産	28,573	役員退職慰労引当金	43
有形固定資産	19,708	睡眠預金払戻損失引当金	855
無形固定資産	2,345	支払承諾	15,695
繰延税金資産	8,696	負債の部合計	2,453,748
支払承諾見返	15,695	(純資産の部)	
貸倒引当金	△12,330	資 本 金	62,120
資産の部合計	2,599,237	資本剰余金	6,971
		利益剰余金	61,318
		自己株式	△66
		株主資本合計	130,343
		その他有価証券評価差額金	12,847
		退職給付に係る調整累計額	△237
		その他の包括利益累計額合計	12,610
		新株予約権	23
		非支配株主持分	2,512
		純資産の部合計	145,489
		負債及び純資産の部合計	2,599,237

第94期中(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)中間連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
経常収益	26,492	特別損失	50
資金運用収益	15,120	税金等調整前中間純利益	6,220
(うち貸出金利息)	(12,356)	法人税・住民税及び事業税	206
(うち有価証券利息配当金)	(2,520)	法人税等調整額	1,538
役員取引等収益	4,754	法人税等合計	1,745
その他業務収益	722	中間純利益	4,474
その他経常収益	5,895	非支配株主に帰属する中間純利益	87
経常費用	20,221	親会社株主に帰属する中間純利益	4,387
資金調達費用	778		
(うち預金利息)	(588)		
役員取引等費用	1,691		
その他業務費用	423		
営業経費	12,473		
その他経常費用	4,854		
経常利益	6,270		

第94期中(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)中間株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

	株 主 資 本							新株予約権	純資産合計				
	資本金	資本準備金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の包括利益累計額						
当期首残高	57,941	2,792	—	2,792	4,077	51,186	55,264	△68	115,930	17,410	17,410	15	133,356
当中間期変動額													
新株の発行	4,178	4,178		4,178					8,357				8,357
剰余金の配当					415	△2,495	△2,079		△2,079				△2,079
中間純利益						4,464	4,464		4,464				4,464
自己株式の取得								△0	△0				△0
自己株式の処分			△1	△1				3	2				2
利益剰余金から資本剰余金への振り替え			1	1		△1	△1		—				—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)										△4,584	△4,584	7	△4,576
当中間期変動額合計	4,178	4,178	—	4,178	415	1,967	2,383	2	10,742	△4,584	△4,584	7	6,165
当中間期末残高	62,120	6,971	—	6,971	4,493	53,153	57,647	△66	126,673	12,826	12,826	23	139,522

第94期中(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)中間連結株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

	株 主 資 本				その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本準備金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の包括利益累計額	退職給付に係る調整累計額			
当期首残高	57,941	2,792	59,011	△69	119,677	17,433	△301	17,131	15	2,444	139,269
当中間期変動額											
新株の発行	4,178	4,178			8,357						8,357
剰余金の配当			△2,079		△2,079						△2,079
親会社株主に帰属する中間純利益						4,387		4,387			4,387
自己株式の取得				△0	△0						△0
自己株式の処分		△1		3	2						2
利益剰余金から資本剰余金への振り替え		1	△1		—						—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						△4,585	64	△4,521	7	67	△4,446
当中間期変動額合計	4,178	4,178	2,306	2	10,666	△4,585	64	△4,521	7	67	6,219
当中間期末残高	62,120	6,971	61,318	△66	130,343	12,847	△237	12,610	23	2,512	145,489

格付け

当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家の皆さまやお取引先の皆さまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、平成18年10月に株式会社日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付^(※1)を取得し公表しております。



格付け **「A-(シングルAマイナス)」**
【据え置き】

格付け見通し **「安定的」**
【据え置き】

(格付けの公表:平成27年9月9日)

(※1)長期発行体格付:債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

利益配分に関する基本方針

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。

普通株式の配当 当期の普通株式の配当につきましては、5月に公表のとおり、本年度末に1株当たり3円の配当をいたしたいと存じます。

優先株式の配当 当期の優先株式の配当につきましては、5月に公表のとおり、本年度末に所定の配当をいたしたいと存じます。

株主優待制度の拡充

日頃のご支援に感謝の意をこめて、ご優待制度の拡充に努めております。
平成27年3月31日現在で、千葉興業銀行の株式を100株以上所有されている個人・法人の株主さまを対象に「株主優待定期預金」の制度を引続きお取扱いしております(平成27年7月1日～平成28年3月31日)。

「さわやかハロー-24」^(※2)ともども、ご利用いただきますようお願い申し上げます。
(※2)「さわやかハロー-24」:当行の株主さまに無料で、健康や医療に関するご相談をベテランの医師などが電話でお受けするサービスです。健康・医療相談のほか、夜間・休日診療の医療機関ご案内、医療機関情報のご提供、介護などシルバー情報のご提供についてご利用いただけます。

役員 (平成27年11月30日現在)

取締役頭取・CEO	青柳 俊一	常勤監査役	稲葉 保実
取締役副頭取・COO	梅村 星児	常勤監査役	松井 一登
専務取締役・専務執行役員	星野 智史	監査役	鈴木 伸弥
常務取締役・常務執行役員	岡本 繁雄	監査役	五日市 喬弘
取締役	戸谷 久子		

(注)取締役戸谷久子氏、監査役鈴木伸弥氏および五日市喬弘氏は、東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2にいう独立役員であります。

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

1 株式数

株式の種類	発行可能株式総数	発行済株式の総数
普通株式	296,000千株	62,222千株
第二回第二種優先株式	5,000千株	5,000千株
第四回第四種優先株式	7,500千株	6,400千株

(注)株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

3 大株主

株式の種類	株主の氏名又は名称	当行への出資状況 持株数等 (千株)	持株比率 (%)
普通株式	株式会社みずほ銀行	9,583	15.41
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,804	2.90
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,398	2.24
	坂本飼料株式会社	1,249	2.01
	明治安田生命保険相互会社	1,158	1.86
	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	942	1.51
	みずほ信託銀行株式会社	926	1.49
	千葉興業銀行行員持株会	816	1.31
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	734	1.18
	CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	722	1.16
第二種優先株式	株式会社みずほ銀行	5,000	100.00

2 株主数

普通株式	13,154名
第二回第二種優先株式	1名
第四回第四種優先株式	165名

株式の種類	株主の氏名又は名称	当行への出資状況 持株数等 (千株)	持株比率 (%)
第四種優先株式	沖電気工業株式会社	300	4.68
	大成建設株式会社	300	4.68
	東京建物株式会社	300	4.68
	丸紅株式会社	300	4.68
	キックマン株式会社	200	3.12
	明治安田生命保険相互会社	200	3.12
	安田不動産株式会社	200	3.12
	株式会社ヤクルト本社	180	2.81
	株式会社クレックス	160	2.50
	芙蓉総合リース株式会社	160	2.50

(注)1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
3.普通株式の持株比率は自己株式(59,046株)を控除して、算出しております。

株式のご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 配当受領株主確定日 期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日
- 定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内に開催
- 基準日 定時株主総会については、毎年3月31日
その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告
(当行ホームページ
<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

- 単元未満株式の買取請求について
単元未満株式をご所有の場合、その単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(買取制度)がございますので、どうぞご利用ください。
特別口座に記録された株式の買取請求については、下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)において受付けております。また、証券会社等の口座に記録された株式の買取請求については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座株式のご売却について
特別口座にて管理されている単元株式を売却されるには、事前に証券会社等の口座を開設し、その後振替手続を行っていただく必要があります。お手続き等の詳細は下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)にお問い合わせください。

株主名簿管理人(特別口座管理機関) **みずほ信託銀行株式会社**

■お問い合わせ先(郵便物送付先)
〒168-8507 東京都杉並区泉東二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324
ご利用時間 9:00~17:00 土・日・祝日を除く

株主様のご住所・お名前等を使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

企業理念

地域とともに

私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。

お客さまのために

私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。

「親切」の心で

私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。

うれしい情報を
LINEでお届け!

LINE@ はじめました

ちば興銀 公式アカウント

@chibakogin でID検索!



千葉興業銀行

〒261-0001

千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111

<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>

